

海南市LPP



長谷川珠希③ 平野遊亀②
 武子遼音③ 金田哲平①
 佐野穂奈美② 岩井泰斗①
 藤田理瑚② 牛丸愛帆①
 番場麻帆② 八島雄士先生

【基本情報】

★海南市とは
 海南市は和歌山県の北西部沿岸に位置する人口約5万人の市。

★活動状況
 私たちは海南市の中でも北西にある大崎地区を主な活動地としています。
 今年は昨年よりも規制が緩和されたということもあり、現地訪問を数回行い、
 地域の方々と交流を深めることができました。

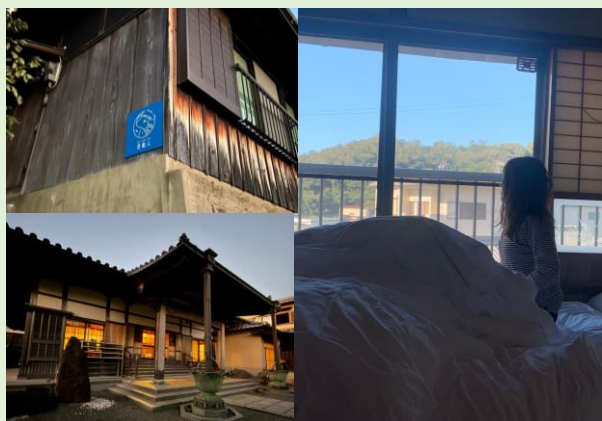
★活動メンバー
 3年生2人、2年生4人、1年生3人の計9人で活動しています。



【活動内容】

7月：ブルーベリーマロトツォづくりのイベント開催

私たちメンバーは参加者に材料や道具を提供し、作り方を教えました。
 ブルーベリーは大崎の畑で育てられたものであり、当日参加者自身が
 ブルーベリー摘みをしてそれを材料として使用しました。
 材料、道具の用意や集客などは大崎の方々と協力して行いました。



10月：大崎地区に宿泊、周遊マップ作りへ

私たち2回生は複数回の訪問や大崎地区の宿泊施設「百船人」に宿泊し
 実際に地区の訪問者になることで、現在の大崎を「外から見る」ことを
 中心に活動しました。深夜の星空や早朝の海辺などの新しいコンテンツの
 発見のほか、地域の方々と夜ご飯をいただいたりなど交流を深める
 機会にもなりました。これらの成果は周遊マップという形で
 広報活動にもつなげていく予定です。

11月：1回生を中心とした現地訪問、さらなる魅力発見

私たち1回生は「大崎を知る」ということをテーマに活動しました。
 空き地掃除のお手伝いや海釣り体験をさせていただくなかで大崎の魅力を
 発見することができたように思います。今年度の活動では、大崎の方々
 のご厚意に甘えてしまっていた部分が多かったように感じるため、来年度は
 地域に還元できるような活動を計画したいと考えています。



【地域の方々の声】

「はじめはコロナ禍で中々活動ができなかったが、今年から活動
 ができる機会が増えてよかった。」「学生の視点で、楽しいと思う
 ことを実践し、来年度も新たな観光のコンテンツを発見してほしい。」
 など、地域の方々からの期待のお言葉をいただきました。



何時も温かく向かい入れてくださり、協力してくださる皆さんありがとうございます！

【今後の展望】

来年度は、オンラインでの交流などを増やし、大崎の方と学生が意見を交換する機会を増やしたいです。今年、主に現地訪問を行いました。企画や準備を1から行ったイベントは多くなかったです。来年度は、私たち学生が企画や準備の段階から計画し、今年度よりさらに能動的に活動したいです。来年度は、大崎の弁天島を利用したコンテンツを考えたり、周遊マップの内容をさらに詰めたりする予定です。